



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 石光商事株式会社 上場取引所
コード番号 2750 URL <https://www.ishimitsu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石脇 智広
問合せ先責任者 (役職名) 経営役経営戦略室長 (氏名) 北川 克史 (TEL) 078-861-7791(代表)
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	47,367	6.4	1,336	11.4	1,438	9.7	842	5.6
2023年3月期第3四半期	44,504	27.6	1,199	43.2	1,311	50.2	797	41.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 937百万円(72.2%) 2023年3月期第3四半期 544百万円(△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	108.85	—
2023年3月期第3四半期	103.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	38,315	12,831	29.3
2023年3月期	36,174	13,306	29.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,229百万円 2023年3月期 10,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,868	1.5	1,255	△4.7	1,340	3.4	900	13.6	116.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	8,000,000株	2023年3月期	8,000,000株
2024年3月期3Q	255,703株	2023年3月期	277,901株
2024年3月期3Q	7,737,597株	2023年3月期3Q	7,718,195株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「5類」に引き下げられて以降、経済活動の正常化が一層進み、インバウンド需要の回復、雇用・所得環境の改善等もあり、景気は緩やかな回復傾向にあります。

海外に関しては、米国は雇用・所得環境の改善により引き続き個人消費等が堅調に推移しております。欧州、中国においては、個人消費の回復が低迷する等、景気は減速傾向にある模様です。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましては、外食産業は人手不足や原材料の高騰等の影響を受けておりますが、個人消費の回復やインバウンド需要により、売上が昨年に比べて増加しております。

当社グループの業績に影響を与える為替相場におきましては、期初1ドルあたり133円台で始まり、日米の金融政策の違いに関する思惑からドル高円安傾向が強まり、一時151円台まで円安が進みました。その後、期末にかけて日銀の金融政策修正の観測が高まり、加えて米国の早期利下げ観測も相まってドル安円高が進み12月末では141円台となりました。

コーヒー業界におきましては、コーヒー相場は期初1ポンドあたり170.50セントからスタートし、投機筋の思惑買いにより一時的に200セントを超えました。その後最大生産国であるブラジルの生産量が前年比増産見込みであることにより一時下落しましたが、再び投機筋の動きが優勢となり12月末で188.30セントとなりました。

このような状況のなか、当社グループは、前連結会計年度からスタートさせた中期経営計画「SHINE2024」で掲げているROIC経営、GHG（温室効果ガス）の削減と社会課題解決商品の開発に重点を置いた事業拡大、社内体制強化に積極的に取り組み、事業の持続的成長を目指しております。当第3四半期連結累計期間においては、一部の子会社において足元のコーヒー相場の影響を受けた収益環境の悪化により、前年同期比で減益を余儀なくされました。しかしながら、この減益要因は前回予想にも織り込み済みであり、一方、特に当社に関し、外食業界の需要回復に加えて円安の影響による仕入価格の上昇を販売価格引き上げに繋げたことに伴い、売上高、利益ともに順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は47,367百万円（前年同期比6.4%増加）、売上総利益は6,251百万円（前年同期比5.4%増加）、営業利益は1,336百万円（前年同期比11.4%増加）、経常利益は1,438百万円（前年同期比9.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は842百万円（前年同期比5.6%増加）となりました。

各事業別の状況は次のとおりであります。

① コーヒー・飲料事業

1) コーヒー飲料原料

コーヒー生豆は、これまでのコーヒー相場の高騰及び円安傾向により販売価格は上昇しておりますが、著しい価格競争を避けていること、前年同期にスポット販売した顧客への売上が今期なかったこと、顧客の商流変更により、売上高が減少いたしました。

飲料原料は、円安により販売価格が上昇したことに加え、飲料メーカー向けの販売が好調だったことにより売上高が増加いたしました。

その結果、コーヒー飲料原料の売上高は前年同期比3.0%増加いたしました。

2) コーヒー飲料製品

アフターコロナにより外食需要・観光産業向けレギュラーコーヒーなどの業務用需要は回復基調ですが、これまでのコーヒー相場高騰及び円安傾向に伴う値上げやリニューアルの影響で、主要顧客への販売が振るわず、また主要顧客との取引形態の変更も影響しました。

その結果、コーヒー飲料製品の売上高は前年同期比0.0%、横ばいとなりました。

これらの理由により、コーヒー・飲料事業の売上高は17,342百万円と前年同期比1.2%の増加となり、売上総利益は2,552百万円と前年同期比2.0%の増加となりました。

② 食品事業

1) 加工食品

ドライ商品は、量販店向けのトマト製品、メーカー原料・給食業態・製菓工場向けへのフルーツ缶詰・顧客PBの開発等の販売量が増加し、各商品群の価格改定もあり、売上高は前年同期比23.4%増加いたしました。

フローズン商品は、中国産ポテトの取り扱いが増加し、既存の量販惣菜業態・小売業態・外食業態への販売が増加傾向で推移し、外食チェーン向け大型商品の価格改定・市場の復調もあり、売上高は前年同期比16.3%増加いたしました。

メーカー商品は、顧客の商流変更などもありましたが、ドライ・フローズンともに、外食向けの販売が引き続き回復に向かい、売上高は前年同期比6.1%増加いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比13.5%増加いたしました。

2) 水産

水産は、主力のエビ関連は、外食業界等で販売単価が上昇したことにより売上高が増加いたしました。また、イカ関連は、工場で使用されるイカ原料の販売が増加したことにより売上高が増加いたしました。さらに、水産調理冷蔵関連は、量販・中食業態向け商品の販売が増加したことにより、売上高が増加いたしました。一方でタコ関連では、価格高騰の影響により既存得意先の需要が減退し、売上高が減少いたしました。

その結果、水産の売上高は前年同期比0.4%の微増となりました。

3) 調理冷蔵

調理冷蔵は、上半期前半に滞っていた価格改定が進んだこと及び年末需要を捉え、特にクリスマス向け商品の販売が好調でした。

その結果、調理冷蔵の売上高は前年同期比11.2%増加いたしました。

4) 農産

生鮮野菜は国産玉葱の台湾向け輸出が国内価格の上昇により減少いたしました。また牛蒡の販売量も減少いたしました。

農産加工品は、トマトペースト、筍加工品、蓮根加工品においては販売単価が上昇したことに加え、新規得意先の開拓が進んだこと、得意先のシェアが拡大したことにより販売金額が増加いたしました。

その結果、農産の売上高は前年同期比7.7%減少いたしました。

これらの理由により食品事業の売上高は21,422百万円と前年同期比4.1%の増加となり、売上総利益は2,792百万円と前年同期比13.4%の増加となりました。

③ 海外事業

英国で新たに設立した合弁会社の効果も徐々に表れ、輸出売上高は前年同期比で増加となりました。また、利益面でも値上げ効果が浸透し、大幅に改善しました。海外現地法人の事業拡大は継続しておりますが、中国現地法人においては国内経済の不況に加えて足元のコーヒー相場の影響により利益率が大幅に下落しております。

その結果、海外事業の売上高は8,601百万円と前年同期比26.8%の増加となり、売上総利益は906百万円と前年同期比6.6%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,140百万円増加の38,315百万円となりました。その主な内容は、棚卸資産633百万円の減少に対し、期末日休日要因の影響に伴う売上債権2,356百万円の増加及び投資有価証券654百万円の増加です。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,616百万円増加の25,483百万円となりました。その主な内容は、期末日休日要因の影響に伴う仕入債務1,412百万円の増加、借入金410百万円の増加及び流動負債のその他に含まれる未払金の増加です。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ475百万円減少の12,831百万円となりました。その主な内容は、利益剰余金656百万円の増加に対し、非支配株主持分1,184百万円の減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,188,837	5,091,616
受取手形及び売掛金	11,735,550	14,092,333
商品及び製品	7,103,011	7,701,133
未着商品	2,450,534	1,235,473
仕掛品	31,849	65,028
原材料及び貯蔵品	940,421	890,605
その他	754,540	528,783
貸倒引当金	△3,099	△2,991
流動資産合計	28,201,644	29,601,982
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,156,471	3,156,471
その他(純額)	3,369,603	3,310,060
有形固定資産合計	6,526,074	6,466,531
無形固定資産		
	203,144	382,311
投資その他の資産		
投資有価証券	715,925	1,370,161
その他	622,354	584,356
貸倒引当金	△98,248	△92,879
投資その他の資産合計	1,240,030	1,861,638
固定資産合計	7,969,250	8,710,481
繰延資産	3,334	2,600
資産合計	36,174,229	38,315,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,665,259	9,077,896
短期借入金	7,512,000	7,016,669
1年内償還予定の社債	56,000	56,000
1年内返済予定の長期借入金	1,301,460	1,476,160
未払法人税等	250,319	284,642
賞与引当金	207,617	153,608
役員賞与引当金	25,853	16,650
その他	1,902,843	2,536,167
流動負債合計	18,921,352	20,617,793
固定負債		
社債	148,000	120,000
長期借入金	2,321,360	3,052,340
退職給付に係る負債	412,494	390,978
役員退職慰労引当金	833	2,166
資産除去債務	129,424	129,818
その他	934,083	1,170,709
固定負債合計	3,946,196	4,866,012
負債合計	22,867,549	25,483,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	904,195	892,462
利益剰余金	8,898,559	9,555,471
自己株式	△102,394	△94,215
株主資本合計	10,323,560	10,976,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,958	220,873
繰延ヘッジ損益	△13,333	△49,175
為替換算調整勘定	46,393	81,172
その他の包括利益累計額合計	197,019	252,870
非支配株主持分	2,786,100	1,601,470
純資産合計	13,306,680	12,831,259
負債純資産合計	36,174,229	38,315,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	44,504,455	47,367,513
売上原価	38,570,616	41,116,163
売上総利益	5,933,838	6,251,350
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,008,404	981,624
貸倒引当金繰入額	10,208	△5,597
報酬及び給料手当	1,441,352	1,528,816
賞与引当金繰入額	99,933	90,903
役員賞与引当金繰入額	19,351	16,650
その他	2,154,965	2,301,975
販売費及び一般管理費合計	4,734,214	4,914,372
営業利益	1,199,624	1,336,977
営業外収益		
受取利息	6,569	6,549
受取配当金	15,903	13,718
持分法による投資利益	-	6,437
受取賃貸料	16,174	15,950
為替差益	104,277	96,978
その他	40,148	45,984
営業外収益合計	183,072	185,617
営業外費用		
支払利息	57,330	71,340
持分法による投資損失	3,287	-
その他	10,350	12,258
営業外費用合計	70,968	83,599
経常利益	1,311,728	1,438,996
特別利益		
固定資産売却益	-	144
投資有価証券売却益	6,130	104,021
特別利益合計	6,130	104,166
特別損失		
固定資産除却損	12	1,341
減損損失	-	160,419
貸倒引当金繰入額	-	120
特別損失合計	12	161,881
税金等調整前四半期純利益	1,317,846	1,381,281
法人税、住民税及び事業税	319,262	462,272
法人税等調整額	108,633	52,721
法人税等合計	427,896	514,994
四半期純利益	889,950	866,286
非支配株主に帰属する四半期純利益	92,352	24,045
親会社株主に帰属する四半期純利益	797,597	842,241

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	889,950	866,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,831	72,408
繰延ヘッジ損益	△429,501	△35,842
為替換算調整勘定	63,161	34,823
持分法適用会社に対する持分相当額	1,001	△288
その他の包括利益合計	△345,507	71,101
四半期包括利益	544,442	937,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	447,416	898,092
非支配株主に係る四半期包括利益	97,026	39,296

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。